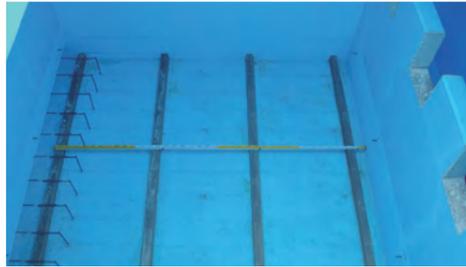
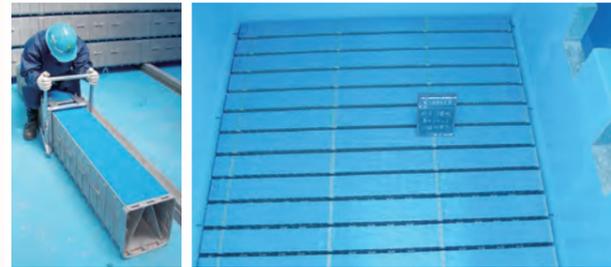


クボタ 有孔ブロック(Kブロック)の施工手順

① 枕モルタル (レベル出し)



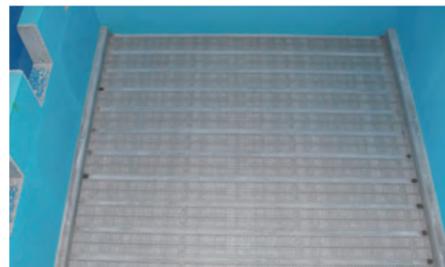
② 有孔ブロック接続、設置



③ 目地モルタル充填



④ 有孔ブロック据付完了



クボタ 有孔ブロック(Kブロック)

砂ろ過池用 下部集水装置



カタログに記載の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

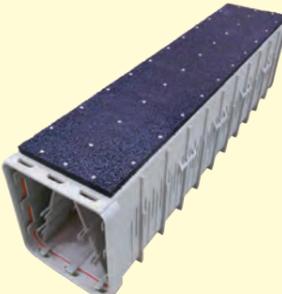


株式会社クボタ

水処理システム営業部

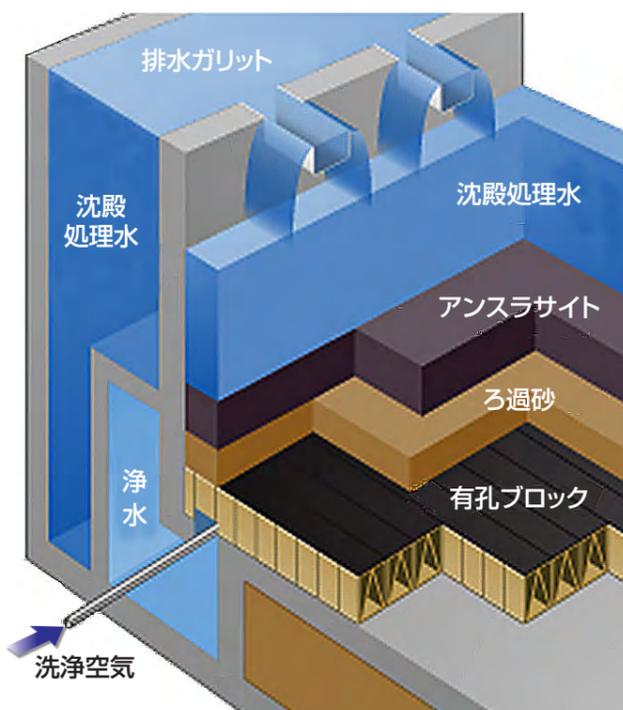
東京本社 〒104-8307 東京都中央区京橋2丁目1番3号 ☎(03)3245-3337
本社阪神オフィス 〒661-8567 兵庫県尼崎市浜1丁目1番1号 ☎(06)6470-5500

クボタ 有孔ブロック(Kブロック)の仕様

項目		多孔板なし	多孔板付き
寸法	全長 (接続長)	1,253(1,214)mm	1,253(1,214)mm
	全幅 (据付幅)	284(260)mm	284(260)mm
	全高 (据付高)	331(304)mm	346(332)mm
材質	ブロック本体	高密度ポリエチレン	高密度ポリエチレン
	多孔板	—	高密度ポリエチレン
重量		約11.5kg	約15kg
外観			

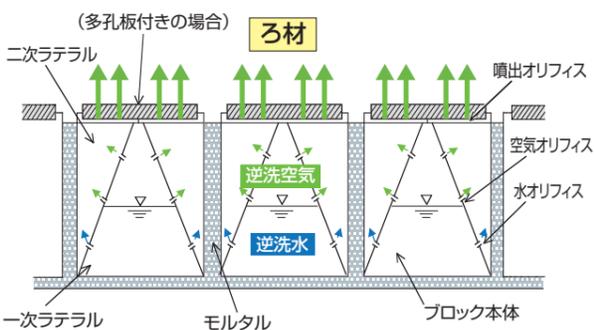
クボタ 有孔ブロック(Kブロック)の構造

●多孔板付き有孔ブロック (二層ろ過、空気洗浄方式)



●〈空気+水〉同時洗浄の仕組み

- ①ブロック内部の三角形に仕切られた空間(一次ラテラル)に逆洗空気と逆洗水が送られる。一次ラテラル内には、空気と水の界面が形成される。
- ②一次ラテラルの側壁上部の空気用オリフィスから空気が分配され、下部の水用オリフィスからは水が分配され、二次ラテラル内に流入する。
- ③二次ラテラル内に分配された空気と水は混合され、噴出オリフィスを経由(多孔板付きの場合は、更に多孔板を経由)してろ過池に分配される。

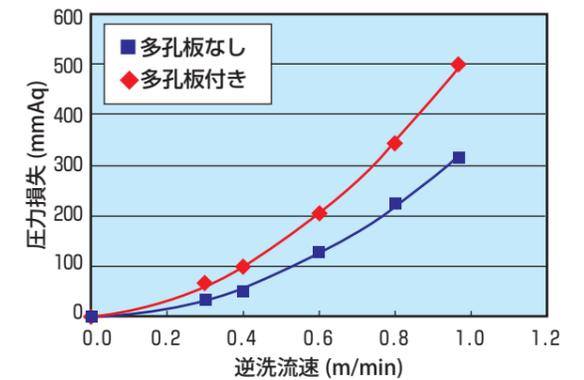


クボタ 有孔ブロック(Kブロック)の特長

1 小さな圧力損失を実現

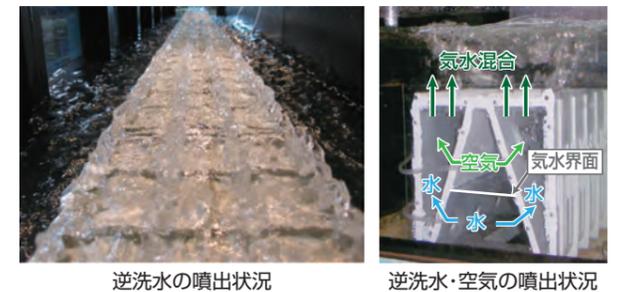
- 既存ろ過池で広く使用されている陶製有孔ブロックとの互換性を有しつつ、圧力損失を最小レベルに抑えました。

圧力損失	多孔板なし	多孔板付き
逆洗流速 0.6m/min	約130mm	約210mm
0.8m/min	約220mm	約350mm
1.0m/min	約340mm	約530mm



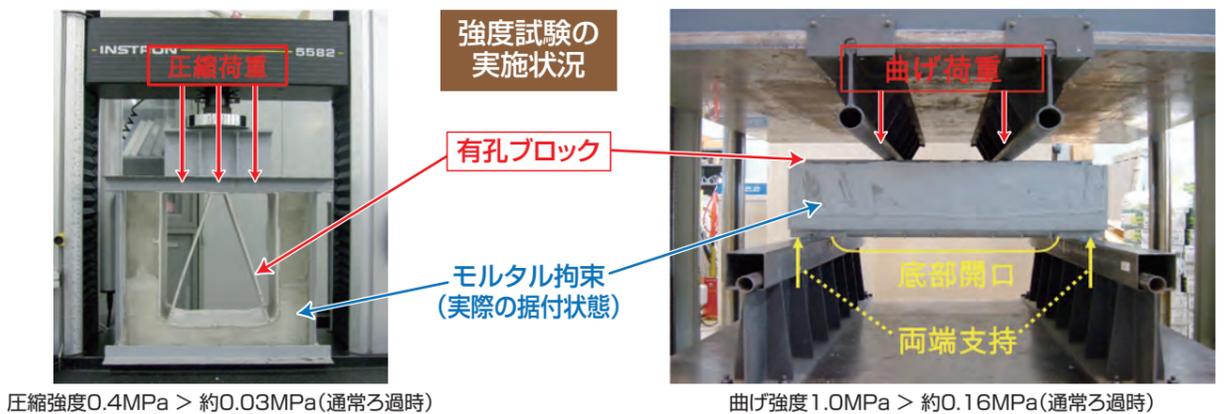
2 高い均等分配性を実現

- 逆洗水および空気の高い均等分配性を達成しました。逆洗水・空気の偏りが少なく、ろ層洗浄が効率的に行えます。



3 軽量化と高強度を実現

- 耐荷重を高めながら、軽量化を実現しました。



4 既設ろ過池の更新、改造に最適

- 陶製有孔ブロックと互換性があるため、既設の躯体を改造することなく、ろ過池の更新が可能です。
- 多孔板付き有孔ブロックの場合、支持砂利が不要となり、更新後のろ過砂上面を低くできるため、上層にアンスラサイトを敷設することで、単層ろ過を二層ろ過に改造することができます。

